

情報電子工学科 学会発表

学会名	第20回情報論的学習理論ワークショップ(IBIS2017)
演題名	D1-11 母固有値の推定を必要としない標本マハラノビス距離補正法の改良
発表者	小林靖之
内容	標本マハラノビス距離 $T_2$ は学習サンプル数 $n$ の不足により識別性能が劣化するため、 $n \rightarrow \infty$ に当たる母マハラノビス距離 $D_2$ の推定が望ましい。そこで、真の共分散行列 $\Sigma$ の固有値（母固有値 $\lambda$ ）の推定値を用いた $T_2$ を $D_2$ へ補正する方法を考案した。しかし、前提である母固有値の推定が難しい。そこで、母固有値の推定なしで補正性能が優れる改良方法を考案した。その概要と検討経過を報告するので、議論したい。
関連リンク	要旨： <a href="http://ibisml.org/ibis2017/discussion1/">http://ibisml.org/ibis2017/discussion1/</a> 公表用ポスター： <a href="http://ibisml.org/archive/ibis2017/poster_preview_D1.pdf">http://ibisml.org/archive/ibis2017/poster_preview_D1.pdf</a> 以上のうち、発表番号D1-11が該当する。